広報わたらい
No. 47
昭和37年6月15日
編集・発行 三重県度会郡度会村役場
印刷所 文化印刷有限会社

7月1日は参議院議員選挙

買収や義理じゃわたせぬこの一票

自分の意志で まごころこめて真剣に

参議院議員通常選挙は、六月七日に公示され、いよいよ来る七月一日に行なわれます。選挙は、私たち国民の権利を行使する貴重な機会です。ラジオや新聞を通じての政見発表をよく聞いたり選挙公報を十分読んだりして悔いのない投票をいたしましょう。これまでの全国の参議院議員選挙の投票率は六十パーセント前後で、衆議院選挙にくらべるときわめて低調です。

また、三重県の場合も六十パーセント前後で、過去六回の成績を見てみると初回からだんだん低くなってきています。とくに女子の投票率は、男子にくらべていつの選挙でも二十パーセントほど低く、女子の選挙に対する関心のうすいことがうかがわれます。

選挙は私たちの生活に、家計簿に直接つながりのある大切なつとめです。決して人ごとではありません。よい政治、正しい政治をのぞむには、私たち一人一人が政治に対する自覚と信念を持ち、悪質な事前運動にまどわされず、自分の意志で投票することが大切です。

投票は午前七時から午後六時まで

参議院議員選挙は、七月一日午前七時から午後六時まで、村内の十三投票所で行なわれます。

この時間内に入場券を持って、入場券に書いてある投票所で投票をすませてください。もし入場券をお忘れになった場合は投票所の受付係へ申しでてください。

また、文字の書けない人や書くことのできない人のために代理投票の制度があります。これも受付係に申しでていただけば手続きをしていただけます。この場合、あなたが誰に投票したかは、わからないことになっていますから心配はありません。

投票所は次のとおりです。

第一	注連指公民館
第二	中川小学校
第三	長原・長命寺
第四	大久保会所
第五	上久具・慶昌庵
第六	大野木・大泉寺
第七	川口・安心寺
第八	中之郷・旧第三連絡所
第九	駒ケ野・耕雲寺
第十	柳 公民館
第十一	脇出第一連絡所
第十二	南中村たから園
第十三	度会村役場

候補者の氏名は正確に

投票用紙には、候補者の氏名以外のことは書かないでください。よけいなことがらを書くと、せっかく真心をこめた投票を無効にしてしまいます。

投票は、まず地方区（黒刷り）をすませ、つづいて全国区（赤刷り）を投票します。投票用紙には、投票所内の氏名掲示を見て、候補者一人の氏名のみを正確に記載してください。とくに地方区と全国区の区別をまちがえないようにご注意ください。

未登録の有権者は もれなく申請を

選挙人としての行為の中心は投票ですが、投票するためには、その選挙の選挙権をもつとともに、選挙人名簿に登録されていなければなりません。

今回の参議院議員通常選挙については、昨年九月十五日現在で調製された基本選挙人名簿と今回の参議院通常選挙について調整される補充選挙人名簿のいずれかに登録されていなければなりません。

基本選挙人名簿に載っていない有権者の方は、もれなく補充選挙人名簿の登録申請をしてください。

①申請をする人＝六月十一日まで引続き三カ月以上度会村に住所を有する者六月十一日現在で満二十才以上に達する者となっています。

②申請の期間＝六月十二日から十八日まで。

③名簿の作られる期間＝六月十九日から二十四日まで。

④名簿を見て異議申立のできる期間＝六月二十五日から二十六日まで。

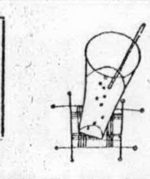
⑤確定の期日＝六月二十八日。

不在者投票

投票日に病気や旅行などで投票できない人は、前日までに不在者投票をして下さい。不在者投票の場所は、ここの場合は役場で、毎日午前八時三十分から午後五時までとなっています。病気の場合は病院長、旅行の場合には事業主や職場の長の証明が必要です。

候補者は心の中までよく見よう

森吉正照



広報ごよみ

夏来る

暦の上でいう夏はもう五月上旬に来てしまいますが一般には六月、七月、八月のことを夏といいます。

ところで「なつ」という語源についてはいろいろな説があります。

わが国はむかしから豊葦原瑞穂の国といわれ、稲が生活の大もとであったところから、稲に結びつけて、稲の実の成り立つころとして「なりたつ」が「なつ」にちぢまったという説があります。また、夏は熱（ねつ）、熱はすなわち暑（あつ）であるところから、この「あつ」という語が転じて「なつ」となったという説です。

公明選挙コント

初めと終りの投票

柏岡しのぶ

選挙がたけなわになると、八十五才のお清ばあさんは、がぜん忙がしくなる。「自まん党」びいきのおばあさんは、街頭演説はもちろんのこと、個人演説、立ち合い演説にもとことこ出かけ、いちばん前の方で耳を傾ける。聴きながら、いちいちうなずいたり、ここぞと思うところでは拍手をしたり、なかなか熱心である。

「みんな、自分が当選したら物価が安く暮らしよくなって、道路もよくなるみたいなことをいってるから、いやだね。だけど『じまん党』としての政策に気に入ったものがあるから、わたしゃ好きなんだよ。それにこの年じゃ、こんどが最後の選挙になるかもしれないから、いちばんいい投票をしなくちゃ……」

そういうお清さんは、これと思う人の名をこっそり練習しているから、また投票日には、その名前を手のひらに書いてゆくにちがいない。こんなわけで、一家はおばあさんの熱に動かされて棄権する者はいない。ことし初の選挙権をもった孫の正子さんは、まだどの党とも、どの人とも見当はつかないし、第一投票が自分のものという実感もわいてこない。この正子さんがふとしたことから「社かん党」の畑楽造氏の選挙事務所へ手伝いにゆくことになった。

選挙事務所といっても正子さんはほとんど奥のほうの手伝いで、畑氏の演説も事務所前でしたのを聞いたくらいであるがだんだん心をひかれてゆくのは、畑氏の心の清潔さであった。畑氏だけでなく、奥さんも、むすこさんもそうで、それが選挙を前にして急ごしらえしたものでなく、身についたものであった。畑氏はもう六十才近かったがその情熱的なことも正子を驚かせた。清廉潔白で仕事に打ち込める人というのであろうか。正子は今まで見たり聞いたりした選挙裏のみにくさや、議場でのあの争いに少なからずいやけがさしていたのに、この人こそ白堊の殿堂におくってはずかしからぬ人という気がした。

いよいよ、あすは投票日という夜、畑氏は、「正子さんは初めての投票だね。ここに手伝っていたからと感情的にならず、だれにも左右されずあなたの心にはじない、清い初の投票をしなければいけないよ」といった。奥さんも、口にこそ出さないが、「ほんとに、そうですよ」と微笑していた。

正子は、じっと畑氏の顔をみた。そして自分の持っている一票がどんなに大切かと、しみじみ知ると、澄んだ声ではっきりと、「はい」と答えたのである。

参議院の存在の意義は

わが国の国会は、衆議院と参議院で構成し、各院は独立にその意志を決定し、それぞれ特色を発揮するため、その組織を異にしています。

もし衆議院だけで国民の総意を代表する機関としての役目をはたすことができるなら参議院は不必要ですが、衆議院が実際に理想どおり国民を代表し、民意を正しく反映するかを考えてみると、選挙制度の欠陥やそれに伴ういろいろな弊害があって理想的な国民代表選出の期待を裏ぎることが多く、また、議会制度における多数決主義は、かならずしもつねに正しい議決を生むとはかぎりません。議会で民意をできるだけ正しく国政に反映させ、衆議院でのゆきすぎをおさえ、議事を慎重に合理的にしようとするところに、参議院の存在価値があります。

とくに参議院は、衆議院が解散などで活動が止まり国会の議決を必要とする緊急の事件が起きた場合、その補充的な機能を果す役目もあります。

参議院の存在は、衆議院の「数の政治」に対して、「理の政治」であるといえます。

参議院の特色は

参議院は、その特色を生かすために衆議院とはちがった構成方法をとっています。候補者の年令では、衆議院の場合は満二十五才以上ですが、参議院は満三十才以上となっています。

また、議員数も衆議院は四百六十六人ですが、参議院は地方選出議員百五十人全国選出議員百人の計二百五十人の議員で組織されています。地方選出議員は、各都道府県の区域を選挙区とし、全国選出議員は全国一区で選ばれます。

参議院の任期は

参議院の任期は六年で、全員一時に改選しないで三年ごとに議員の半数を改選します。また、参議院には解散がありません。

これは参議院には身分の安定性と事務の継続性を保たせて、第二院としてのコントロールと補充的機能を持たせるためです。

公明選挙の推進員きまる

度会村選挙管理委員会は公明選挙推進員に次の方々を委嘱しました。

この推進員の方々は、選挙違反のない明るい選挙を行なうにはどうしたらよいか、その方法を相談したり啓蒙をはかったり、いわば選挙の清浄化のためにつくされるわけです。……今後の活躍を期待しましょう。

〔公明選挙推進員〕

神森克巳・掛橋良一・山木宮生・森本一郎・太田与三五郎・真瀬美佐尾・中西幸子・大野よし・羽根薫子・羽根来

暮らしの手帳

▲つゆに入ってほたるの季節になりました。

また、一年中で一ばん忙がしい農繁期です。どうしても無理をしがちになりますが、睡眠をよくとり栄養に気をつけて病気にならぬよう要心しましょう。

▲雨具のご用意はいかが。学童の雨ぐつ、かさ、レーンコートなどよく調べておきましょう。このごろ家でかんたんにできる防水剤を売っています。運動グツ、地下タビなどを防水しておきましょう。

▲湿気が多く、むし暑いので、食品衛生には気をくばってください。とくにソーセージなどの魚の加工品がくさりやすくなります。

ソーセージを買うときは外がわがヌラヌラしたり、においのぷんとするものは絶対に避けること。おしょう油のカビには、カラシ粉サカズキ一ぱいを袋に入れて、しょう油びんの中に入れておくとかびるのをふせげます。

▲食器棚や台所がかびやすい時です。すみずみを、手まめに中性洗剤か熱湯でふきたいものです。ゴキブリはえ、かの発生もこのころですから、近所と協力して駆除しましょう。

こうしたことは近所といっしょにしなければ効果があがりません。

× ×

アカシヤの花吹きたわむ嵐哉 虚子

第三保育所たちから園落成

○長原に設置のきまった度会村第三保育所（たちから園）は、4月10日開所、その後新築工事と既設建物の改造のため同区のお寺でお世話になってきましたが風かおる5月8日に落成式が行なわれ、その日から新らしい保育所に引越しました。

○建物の内容は、新築部分97平方メートル、既設部分97平方メートルで、保育室、遊戯室、乳児室、事務室、調理室、医務室などが完備しています。

○工費は、新築に184万円、改造に15万円、その他に2万円を要しました。

○第三保育所の区域は、中川地区と鮎川、立岡、当津、茶屋広で現在54名の児童が在籍、毎日小さなカバンを肩に元気よく通っています。

○この保育所設置のため長原区は長原公民館の敷地建物と遊園地を村に提供しました。

○第三保育所の先生は次の皆さんです。園長＝佐野得禅・保母＝小林郭子・坂口シゲ子・松葉茂子・給食婦＝北村みなへ

公民館の窓

青年として社会に何を望むか

度会村青年団研修会のまとめ

去る4月21、22の両日内城田中学校体育館で行われた度会村青年団（団長、羽根来）主催、婦人会協議会共催、度会村公民館後援の研修会はその主旨のように村の青年が一堂に集って寝食を共にし親睦を深めつつ今おかれている青年の立場を正しく視て、反省すべきは反省し、将来の進むべき方向を見い出し、とあるように、いろいろなむつかしい問題と取り組んで熱心に研修を積み重ねた。

とくに正副団長の人柄を反映して最近三〜四年間で最も充実した、しかも丸味のうちにシンのある建設的な研修会であったように受けとれた。

第一日は開会式のあと山高の野村一雄氏の物の見方解決の法則といった理念的講演があり、中食のひとときに北浜小学校長の久保倉利彦氏指導でフォークダンスと民謡踊で気分をほぐした後、

㈠ 青年として社会に何を望むか

㈡ 郷土に残る青年の問題点

㈢ 婚礼と新生活

㈣ 青年団の在り方

㈤ 男女青年の正しい交際

についてそれぞれ分科会がもたれた。その話し合いの中から二三を拾ってみると、この村は耕地面積が少なく水準的な生活がなり立たない。青年の大半が出て行くのも、こんなところに原因がある。

大きな立場から見ると、青年の出て行くのも村の発展上悪くはない。

しかし残って農業に従事する青年は機械化による近代化や協同協業による生産性の向上が生活の安定と文化生活へのキメ手であると結論し、働くだけで娯楽がないと訴え、村に残る青年達の話し合いや研究や楽しみの場として自由に、しかも巾広く利用できる施設として地区ごとに専用の地区公民館を建ててほしい等切実な希望があった。また結婚の際財産をすりへらしてまでの持参品は馬鹿気たことだ。日常必要な物だけでよいではないか。男性の望むものは嫁さんの荷物でなくてお互の愛情である。

式も多勢で大騒ぎする等は改めたい。要は因習にとらわれず虚栄を張らずそれ相応に合理的な式とすべきだと主張していた。

夕食後は、各支団の現況報告やレクリエーション、座談会を行った。

第二日目は朝から、前日の分科会のまとめをした。その後村長を囲んで座談会をする予定であったが、村長さんが家庭の都合で出席できなかったので、予定を変更して、教育長と公民館長との座談会をしたその後記念写真をとり中食。

午後は分科会の発表と質疑応答をロール（役目）プレーイング（演じる）で行い拍手カッサイのうちにこれを終り閉会式を行って一泊二日の研修会を滞りなく終えて散会した。

高校選科開校式

（女子青年学級）

四月十四日午後一時から明野高校度会分校で中世古教育長、太田館長、および中田主事、河嶋主事、神森地区館長ならびに田村、細川両講師が列席して、高校選科の開講式を行った。

ことしの入学希望者は三十四名で、一時七十名近くあった在籍者も他産業への流出で次第に減少したが、ことし入学した女子青年はいずれも農村に踏み止まって農業に生きようとするたのもしい女子青年ばかりである。

川口五輪堂で老人の集い

4月18日掛橋小川郷地区館長の企画で川口のお年寄り男女十数名が、五輪堂に集った。この日招かれた中央公民館長が出席約一時間ほど貿易の自由化と今後の農業について認識をふかめ、今問題になっている農業構造の改善や近代化について話し合った。さらに座談的に食べものと成人病、とくにガンや高血圧との関係などを話し合い、次の集会には一層くわしく老人の食生活について話し合う約束をして閉会した。

▲青年団・婦人会・PTA役員の研修会

さる四月二十五日中央公民館は内城田中学校体育館で各種団体指導者研修会を開いた。

中央公民館長から今年の社会教育の方針と努力目標行事計画について説明があり引続いて角屋先生の「団体運営の諸問題」と題して

○人作り〜仲間作り

○役員選定の問題

○集会

○委員制〜グループ活動

の講演があり分科編成をして中食。午後は

○団体活動を活発にするにはどうすればよいか

○新らしい生活様式と秩序はどうあるべきか。

のテーマを設定して三つの分科会で共同思考〜集団討議の実際を研修した。

そのあと中川地区館長代理森本こいそさんの司会で全体討議を行い、太田中央館長の講評があって午後四時閉会した。

この日の分科会の助言者は各地区館長四名と西田、小林両中学校長、村議会議員北村利三氏の計七名でした。

▲定例館長会議

四月二十八日、中川（森本）内城田（山本）小川郷（掛橋）一之瀬（神森）の各地区館長と中央（太田）館長が役場会議室に集って

一、夏期大学講師の選定

二、地区館における各種団体指導者研修会の企画

三、指定モデル実施地区（又はグループ）設定について

協議した。

▲青年学級・婦人学級の主事会議

五月八日午後一時から、河嶋（女子青年学級）中尾（中川婦人学級）小林（内城田婦人学級）東出（一之瀬婦人学級）の各学級主事が中央公民館長をまじえて今年度の社会教育の方針にそって実施する各学級の実施計画やこれに要する予算について協議した。

村有林の育成に御協力を

ことしは、村有林の新植21ヘクタール、林内下刈り33ヘクタール、合計54ヘクタールの作業を4月28日ですっかり終りました。1月28日に川上筒淵で事業を始めてから安い報酬にもかゝわらず各戸2日づつ出てもらってよく働いていただいた結果この大きな事業を予定どおり完了出来ました。ここに厚くお礼申上げます。

今後も引続き計画的に造林し、五百町歩の村有林を全部緑にする計画です。子孫に残す財を築くため今後とも御協力をお願いします。

度会 村長 福井ゝ定
造林委員長 中西幸助

ボロという言葉

使い古して穴があいていたり、やぶれている衣服や布のことをボロといいます。

★

語源は二説あります。一説は、国語辞典などの「ボロ」の項をみると、「襤褸」と出ていますが、ほんとうは「暮露」と書くのが正しいという説。これは室町時代のはじめ（一、三〇〇年ごろ）あらわれた薦僧（のちにコム僧といわれる）が一軒々々食を乞うて歩き、やがて日が暮れると、木陰や橋の下で、夜露にうたれながら眠ったので、しだいに身につけている衣服がやぶれたために、これを「暮露」とよびはじめるようになったといわれています。

★

さてもう一つの説は、コモ僧のことを一名「梵論字」といいますが、コモ僧はいつも破れた衣服をまとっていることが多いのでこの「ぼろんじ」省略して「ボロ」という言葉が生れたという説です。

★

また「ボル」ということば（これは不当の利益をむさぼるという意）とか「ボロイ」ということばはいずれも「ボロ」から転化したものだといわれています。

これもやはりボロをきたこじきたちが、食物をもらいねだり、むさぼる意からきています。

衛・生

★虫歯の予防

六月四日は六四（むし）ですから虫歯予防デーでした。

そこで、まず強いよい歯をつくるには、日常どうしたらよいか考えてみましょう。

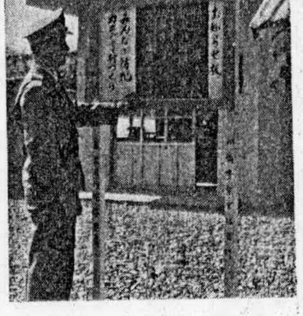
歯の仕事

歯はかたい食物をくだくのが仕事です。食物をかかえた胃は運動をするけれども、決して食物を細かくはしません。ただ、消化液で食物をよくまぜ合わすだけです。ところが、歯がわるいと食物をかみません。だから細かく、やわらかくならないばかりか、ツバ（唾液）もまざりません。ツバがまざって水分が多くならないから胃液もよくまざりません。結局よくかまないということが、必要以上に胃の負担を重くし、長い間にはしだいに胃を弱らせてゆきます。胃をじょうぶにするためには、そして身体を健康にするためには、まず、食物をよくかむことです。よくかむためには歯をじょうぶにすることです。

歯をじょうぶにするためには

ハミガキ会社は「真白い真珠のような歯」というのがうたい文句ですが、本当にじょうぶな歯は真白ではありません。そのわけは歯の表面はホウロウ質（エナメル質）というかたい物質でできていますが、ホウロウ質はほんとうはやや黄味がかっています。これを白くしようと、朝晩歯ブラシでごしごしみがいては表面が傷ついてきます。

歯を白くする歯みがき類はみがき砂と同様で、目のあらい粉の入っているのが多いから、それを用いることはじょうぶな歯をけずり取っているのと同じです。それで、歯をみがくのは、あくまでも歯についている食物のカスを取り去り、口中をきれいにすることであって、そのためには夕食後就寝前に歯をみがくことがたいせつです。



（防）（犯）（だ）（よ）（り）

○お知らせ板を設置

度会村防犯委員会は各駐在所に「お知らせ板」を設けました。【写真】

このお知らせ板は、防犯委員会や駐在所からのおねがいや要望などを書き入れたり、自動車免許試験のお知らせをしたりするために活用されます。

また、左端には「みんなで防犯、力あわせて村づくり」の標語が入っています。

キツネにだまされたような話

館長　太田与三五郎

四月四日のことです。夜七時から国束寺で大久保の養鶏グループの集会があるから来て下さい、との連絡があったので、主事の中田君と私がお邪魔した。

顔なじみの中森文夫さん、中森きよさん、それに坂本さん山本さん等の外二十名ほどの会員がお寺の座敷いっぱいの盛会で、十一時過ぎまで、これからの養鶏経営や飼料の話し、農業の将来などいろいろと話し合った。

しかし、この晩の集会には私が生れてはじめての経験をしたエピソード（挿話）がある。ということは、たった三キロほどの道をオートバイで一時間以上もかかり、約束の時間に間にあわず、おまけにグループの人の助けをかりてようやく会場にたどりついたということです。

星一つない闇の田圃道とはいえ、きりきり舞いをして途方もない山奥に迷い込んで動きがとれなくなった。

おまけに帰りもまた中田君とはぐれてしまい、あのへんの田圃道を行ったり来たりしたあげく、グループの会長さんの厄介になったのです。

あとで聞いた話だが、「あのへんには、よく人をだますキツネが居る」との事だが、それはそれとしてまさかキツネにやられましたとは云いたくないし、それかといってどう考えてもわからない自分の行動。

一応『闇夜における錯覚』としているが、とにかく夜、知らぬ部落をよくあるき廻る私にもこんなことは始めてのことでした。